

# かくあれ令和日本

近代主義の節目に当たり新しい文明観が求められる今、その造形に日本が果たすべき役割は極めて大きなものがあります。令和の時代に正しい方向を政治が示唆し、政治に関わる者がその指導的役割を提示することが、今日求められる時ではないと思えてなりません。

国際社会の多極化、流動化が加速する中で、FRBのパウエル議長は世界経済の減速化が現実性を帯びてきたと発言されました。とりわけ米中貿易摩擦がその主要因と思われますが、いずれにしても世界経済が新しいステージに入り、FRBは追加金利下げを10年ぶりに実施するとの認識をすべき状況にあります。「一方フランスでのG7は、首脳宣言を採択しない」とのことであり、世界情勢は21世紀の新しい時代の模様を呈してきました。世界の方程式市場が不安定の中、主要各国の長期金利の急落下を踏まえ、今後の経済展望は未知の段階に入ったと思えてなりません。  
一方韓国による日韓軍事情報包括保護協定GSOMIA（ジーソミア）の破棄は、北東アジアの安全保障に大きな影を落としております。これに対し米国防総省は強い懸念を表明し、日米韓による健全なるパワーバランスに空白を与え、次なる時代に対応する日本の

主張は、「層重くなると思われるます。こうした事は、中朝口が利するとの予測もありますが、抑止力としての視点からは適切な対応をすべきであります。

こうした中、私達は大局的な提言である国連が提示した「持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けて、より積極的な対応が求められております。国連加盟国200ヶ国がそれぞれ自己第3主義を強く主張すれば、まさに現代社会の持続可能な極めて困難であります。環境問題、貧困格差の拡大、異常気象問題をはじめ、現代文明が抱える問題は地球的観点で俯瞰する必要が今ほど必要な時はありません。昨年他界された宇宙物理学者ホーキングの指摘のとく、「惑星は文明の高度な発達により、むしろ消滅する」という指摘は、今日の地球自身の問題であります。

SDGs持続可能な社会を実現すべく、政治・経済を軸に令和の時代に向けて日本はそのインベーション戦略に對し、高い構想力を持つて世界をリードする能力の活用と強い意志を持たなければなりません。戦後74年間、日本は敗戦の荒廃から国民各位の努力により、世界第3位の経済大国に復権致しました。私達は先人の努力に深く敬意を表するとともに、更なる新しい時代に対する発想力を持つて、この困難な時代に立ち向かう責務があります。従つて誇れる日本創造に向けて、政治の責務は社会に対して強い波及力をを持つ故に、極めて重大であります。私も県政の立場からそのよつた強じ認識の上に立ち、議会人として最大なる努力をする所存であります。



自由民主党 県議会議員  
長野県議会議員  
本郷一彦



地元県議会議員との懇談会にて少子高齢社会に向けての対応及び産業政策について意見交換を行う



松本市自衛隊協力会会长として総会にて挨拶



寿台町会連合会顧問として夏祭りに参加



奈良井川水系河川改良促進期成同盟会定期総会にて河川整備の積極的推進についてスピーチを行う



長野県獣医師会総会にて、畜産業の発展及び豚コレラ対応についてスピーチする



次世代自動車である燃料電池自動車に試乗する



長野県看護連盟総会にて、看護師不足、処遇対応及び勤務体制の改善への対応についてスピーチする



山辺開発協議会（入山辺地区）の現地視察に顧問として参加。河川・道路の改修を軸に視察